



大野一心

NO.28

令和5年9月26日（火） 文責：校長 諸熊 修一

お茶会が行われました

9月20日（水）の放課後に茶道部による「お茶会」が実施されました。丁寧な招待状をいただいたのですが、私は当日出張だったので、残念ながら参加することができませんでした。川尻副校長先生に参加してもらったので、私の代わりにレポートをしていただきます。「副校長のへや」にも掲載しています。

先日、茶道部のお茶会に招かれました。これまでお稽古してきた集大成としてのお茶会でした。大野中学校では、外部からお師範をお迎えし、本格的に茶道をご指導いただいています。

茶会の空間には、掛物や茶花がしつらわれ、凛とした雰囲気の中でお点前を頂戴しました。菓子の甘さのあとの、茶のふくいくとした香りと苦味のあとにくる旨味が何とも言えず、体にしみこんでいく感覚を味わいました。何より、部員のふくささばきや水差しの蓋に手を添えるしぐさ、茶せんを持つ控えめでありながら意志のある指先に、これまで鍛えられたであろう日々の努力の跡を感じたところです。日本文化のおもてなしの心がいきとどいた空間に身を置き、ゆったりとした時間を味わうことができました。心穏やかに至福のときでした。



駅伝の試走に行ってきました

10月11日（水）に実施される佐世保市中学校駅伝大会に向けて、9月22日（金）の午前中に会場となる相浦総合グラウンドへ試走に行ってきました。今回の練習テーマは「コースを知る」です。男子19名、女子15名、計34名が各自コースを確認し、実際にそれぞれの区間を走りました。

選手たちは、夏休みに入ってから7時30分にはグラウンドに集まり、厳しい暑さの中練習に励んでいました。2学期が始まってからも、生徒の皆さんが登校する前に集合し、練習に励んでいます。私も夏休みの7月後半から8月上旬の練習にかけては、選手の皆さんと一緒に走らせてもらいました。みなさんと一緒に走りながら、朝早く登校し、厳しい暑さの中、汗まみれになりながら一生懸命に走っている姿には、とても感心しました。

今後、当日走る選手が選抜されると思いますが、選抜される選手だけではなく、大会まで練習を頑張り続ける34名の子どもたち全員に拍手を送りたいと思います。今後、選ばれた選手の皆さんは、選ばれなかった人たちの思いも胸にタスキをつないでほしいと思います。ケガや体調には十分に留意して、大会まで残り約2週間頑張ってください。



美術科の中尾美和先生が、第68回県展の日本画部門で準グランプリに相当する「県教育委員会賞」を受賞されました。10月5日(木)～15日(日)の期間、佐世保市博物館島瀬美術センターで展覧会が開催されます。都合がつく保護者や生徒の皆さんは、中尾先生の作品を鑑賞しに会場まで足を運んでみてはいかがでしょうか。「果敢に攻める」というタイトルです。迫力ある剣道の姿が描かれています。(入場料:一般 当日250円 前売り200円 小中生 無料)



長崎県美術展覧会（県展）は、広く県民から美術作品を公募し、県民の芸術鑑賞・参加機会の創出と美術活動を普及促進することで、芸術文化の振興を図ることを目的に行われている県内最大の公募展です。

2023年で第68回を数える県展は、毎年8月初旬に公募を行っています。審査結果発表を経て9月から10月にかけて長崎・佐世保・諫早の3会場での展覧会を開催。11月には県内各地での移動展を行っています。(県展 HP より抜粋)



中尾先生は、夏季休業中を中心にご自宅で作品の出版準備を進めていらっしゃったとお聞きました。ご専門とはいえ、忙しい職務の間にこのような立派な作品を制作される熱意と努力に敬意を表します。

左のイラストは私の似顔絵です。新名先生に描いてもらったものです。サッカーが得意なのは知っていましたが、イラストも得意とは全く知りませんでした。同じようなイラストを校長室入口のドアにも貼っています。そういえば、修学旅行の先生当てクイズで、学校の先生になってなかったらという質問に「イラストレーター（漫画家）」と答えていたことを思い出しました。